

診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成 20 年度調査）
外来管理加算の意義付けの見直しの影響調査
報告書（案）

◆◆ 目 次 ◆◆

1. 目的	1
2. 調査対象	1
(1) 病院調査	1
(2) 診療所調査	1
(3) 患者調査	1
3. 調査方法	2
(1) 病院調査・診療所調査	2
(2) 患者調査	2
4. 調査項目	3
5. 結果概要	4
(1) 回収の状況	4
(2) 病院調査・診療所調査の結果概要	5
1) 施設属性	5
①病院の施設属性	5
②診療所の施設属性	7
2) 外来診療の状況	9
①外来診療を行っている診療科（病院・診療所）	9
②外来診療を行っている主たる診療科（病院・診療所）	10
③主たる診療科における表示診療時間（病院・診療所）	11
④診療所における外来診療実日数（平成 20 年 10 月 1 か月間）	12
⑤診療所における医師全員の合計診療時間（平成 20 年 10 月 1 か月間）	12
⑥病院・診療所における外来担当医師数（常勤換算）	12
3) 外来患者数及び外来管理加算算定回数（平成 20 年 10 月 1 か月間）	13
①病院における外来患者数及び外来管理加算算定回数（平成 20 年 10 月 1 か月間）	13
②診療所における外来患者数及び外来管理加算算定回数（平成 20 年 10 月 1 か月間）	14
4) 外来管理加算の算定状況（平成 20 年 10 月末現在）	16
①外来管理加算の算定状況（平成 20 年 10 月末現在）	16
②平成 20 年 4 月以降に外来管理加算の算定を開始した施設の主たる診療科別内訳	17
③外来管理加算の算定をしていない施設の主たる診療科別内訳	17
④外来管理加算算定患者に対して必ず行っている診療内容	19
⑤外来管理加算算定患者 1 人あたりの平均診察時間	20
⑥診療科別の外来管理加算算定患者の 1 人あたり平均診察時間	21
5) 外来管理加算の意義付けの見直しによる影響	22
6) 外来管理加算の意義付けの見直しによる経営上の影響（自由記述式）	34
7) 望ましい「懇切丁寧な説明」	35
①望ましい「懇切丁寧な説明」の内容（病院・診療所）	35

(3) 患者調査の結果概要	37
①患者の基本属性	37
②患者の通院状況	41
③診察内容等の変化（同じ医療機関に1年以上通院している患者）	49
④診察を受けた時の状況	57
⑤外来管理加算の時間の目安についての考え	74
6. まとめ	89
(1) 病院調査・診療所調査	89
(2) 患者調査	90

参考資料

1. 目的

平成 20 年 4 月の診療報酬改定では、「外来管理加算を見直し、外来で継続的な治療管理を要する患者に対し、医師が患者の療養上の疑問に答え、疾病・病状や療養上の注意等に係る説明を懇切丁寧に行うなどの、療養継続に向けた医師の取組への評価とする」として、外来管理加算の意義付けの見直しが行われた。また、外来管理加算について懇切丁寧な説明を行うこととして 5 分の目安が要件とされた。

本調査は、外来管理加算の意義付けの見直しによる医療機関への影響及び患者への影響を把握することによって、診療報酬改定の効果を検証することを目的とする。

2. 調査対象

本調査では、「病院調査」、「診療所調査」、「患者調査」の 3 つの調査を実施した。

(1) 病院調査

本調査では、全国の、一般病床数が 200 床未満の病院を調査対象とし、このうち、無作為抽出した病院 1,500 施設を「病院調査」の客体とした。

(2) 診療所調査

同様に、全国の一般診療所を調査対象とし、このうち、無作為抽出した一般診療所 2,000 施設を「診療所調査」の客体とした。

(3) 患者調査

上記 (1)「病院調査」及び (2)「診療所調査」の対象施設に調査日（平成 20 年 12 月 8 日または 12 月 9 日）に受診した「再診の患者」を本調査の調査対象とした。

患者客体数は、1 施設につき最大 4 名とした 1。内訳は、「外来管理加算を算定した患者」2 名、「外来管理加算を算定しなかった患者」（検査、リハビリテーション、精神科専門療法、処置、手術、麻酔、放射線治療を行っていない再診患者）2 名である。

図表 1 患者調査の客体数（1 施設ごとに以下の 4 名）

	午前診療	午後診療
外来管理加算を算定した患者	1 名	1 名
外来管理加算を算定しなかった患者	1 名	1 名

※午後診療（午前診療）を行っていない場合は、午前診療（午後診療）の患者から各 2 名とした。

¹ 該当者がいない場合もあるため、「最大 4 名」となる。

3. 調査方法

(1) 病院調査・診療所調査

本調査では、「病院調査」及び「診療所調査」の対象施設の開設者・管理者宛に、施設の概要や外来診療の状況、外来管理加算の算定状況、外来管理加算の意義付けの見直しによる影響、課題等を尋ねる自記式調査票（「病院票」「診療所票」）を郵送により配布した。

また、回答いただいた調査票は、本調査事務局宛の専用返信用封筒を用いて郵送により回収した。

調査は、平成20年12月～平成21年1月に実施した。

(2) 患者調査

患者調査については、患者の基本属性や通院状況、診察内容に対する満足度、外来管理加算に関する認知度や考え等を尋ねる自記式調査票（「患者票」）を、上記（1）病院調査・診療所調査の調査票と同封の上、郵送により、対象施設の開設者・管理者宛に郵送した。

患者への調査票配付は、対象施設を通じて行った。正確な実態把握のため、患者からの質問等については対象施設では回答せず、本調査事務局までに連絡するように依頼した。

また、患者票の回収は、本調査事務局宛の専用返信用封筒を用いて、患者から直接、郵送により行った。

調査は、平成20年12月～平成21年1月に実施した。

4. 調査項目

本調査の主な項目は次のとおりである。

図表 2 調査項目

調査区分	主な内容
病院調査	<ul style="list-style-type: none">・施設の概要（開設者、許可病床数、職員数、外来担当医師数等）・外来診療の状況（外来診療を行っている診療科、主たる診療科、表示している診療時間、外来患者延べ人数、初診患者数、再診患者延べ人数、外来管理算定回数等）・外来管理加算の算定状況（算定状況、診療内容、平均診察時間等）・外来管理加算の意義付けの見直しによる影響・「懇切丁寧な説明」に対する考え・外来管理加算についての課題等
診療所調査	<ul style="list-style-type: none">・施設の概要（開設者、種別、職員数、外来担当医師数等）・外来診療の状況（外来診療を行っている診療科、主たる診療科、表示している診療時間、外来診療実日数、実際診療時間、外来患者延べ人数、初診患者数、再診患者延べ人数、外来管理算定回数等）・外来管理加算の算定状況（算定状況、診療内容、平均診察時間等）・外来管理加算の意義付けの見直しによる影響・「懇切丁寧な説明」に対する考え・外来管理加算についての課題等
患者調査	<ul style="list-style-type: none">・基本属性（性別、年齢、傷病）・通院状況（受診した診療科、通院頻度、通院期間）・診療内容等の変化の有無・診察状況等（診察時間、診察内容、診察内容に対する満足度・評価、診察時間に対する評価、医師の説明内容についての理解度等）・外来管理加算についての考え等（時間要件についての考え、「懇切丁寧な説明」についての要望、外来管理加算の認知度、要望等）

5. 結果概要

(1) 回収の状況

病院調査の有効回収数は 486 件、有効回収率は 32.4%であった。診療所調査の有効回収数は 585 件、有効回収率は 29.3%であった。

また、患者調査の有効回収人数は 1,933 件であった。

図表 3 回収の状況

	有効回収数	有効回収率
病院調査	486	32.4%
診療所調査	585	29.3%
患者調査	1,933	—

※病院調査・診療所調査については、外来診療を行っていない医療機関を無効票として除き、有効回収数とした。

※患者調査については、リハビリテーション・処置などを実施した再診患者を無効票として除き、有効回収数とした。

(2) 病院調査・診療所調査の結果概要

【調査対象等】

○病院調査

調査対象：全国の病院の中から無作為に抽出した病院。ただし、一般病床数が 200 床未満の病院とした。

回答数：486 施設

回答者：開設者・管理者

○診療所調査

調査対象：全国の一般診療所の中から無作為に抽出した一般診療所

回答数：585 施設

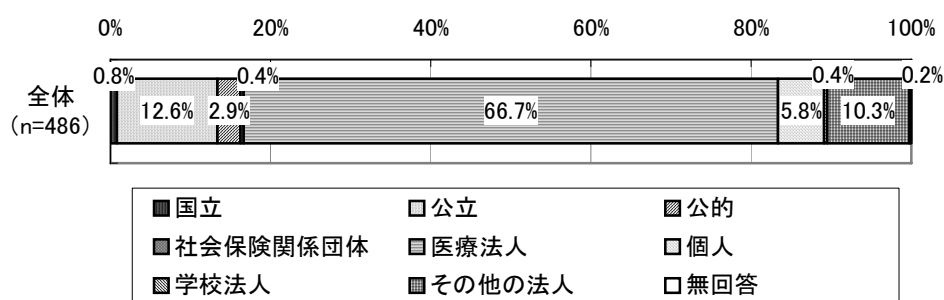
回答者：開設者・管理者

1) 施設属性

①病院の施設属性

病院の開設主体についてみると、「医療法人」(66.7%)が最も多く、次いで「公立」(12.6%)、「その他の法人」(10.3%)、「個人」(5.8%)、「公的」(2.9%)、「国立」(0.8%)と続いた。

図表 4 病院の開設主体

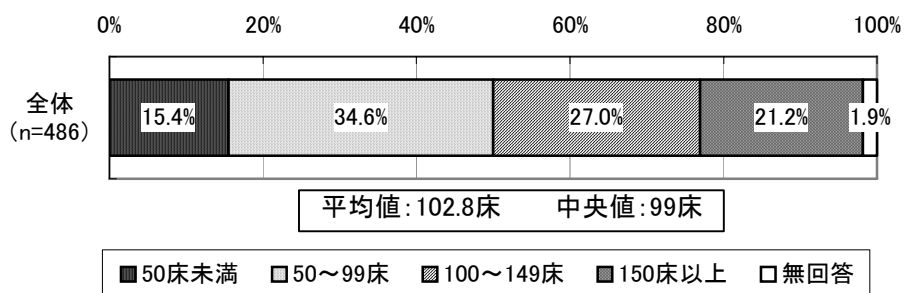


※参考：開設主体の内訳

国立	厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康福祉機構、その他（国）
公立	都道府県、市町村、地方独立行政法人
公的	日本赤十字社、済生会、北海道社会事業協会、全国厚生農業協同組合連合会、国民健康保険団体連合会
社会保険関係団体	全国社会保険協会連合会、厚生年金事業振興団、船員保険会、健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合
その他の法人	公益法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人

病院の許可病床数についてみると、「50～99床」(34.6%)が最も多く、次いで「100～149床」(27.0%)、「150床以上」(21.2%)、「50床未満」(15.4%)と続いた。許可病床数の平均は、102.8床、中央値は99床であった。

図表 5 病院の病床規模



病院の職種別職員数(常勤換算)についてみると、1施設あたりのそれぞれの平均人数は、「医師」が7.6人、「歯科医師」が1.6人、「薬剤師」が2.4人、「看護職員」が45.0人であった。

図表 6 病院の職種別職員数(常勤換算)(n=461)

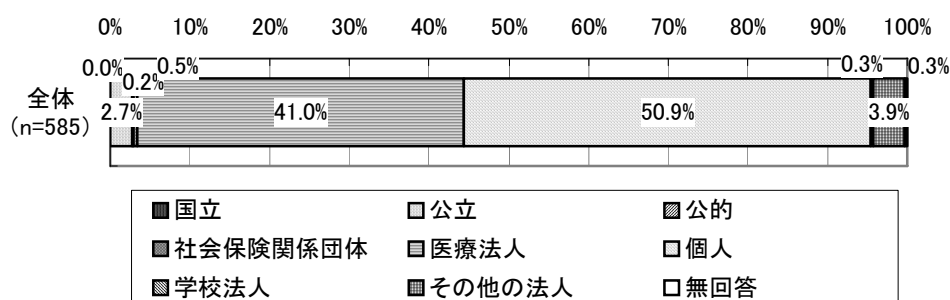
	平均値	標準偏差	最大値	最小値	中央値
医師(人)	7.6	4.8	32.5	1.0	6.4
歯科医師(人)	1.6	22.9	428.8	0.0	0.0
薬剤師(人)	2.4	1.6	12.5	0.0	2.0
看護職員(人)	45.0	30.8	150.4	0.0	39.6
その他(人)	42.4	32.8	146.4	0.0	37.3
合計(人)	99.0	65.7	574.2	2.0	89.0

(注) 歯科医師の人数最大値は歯科大学附属病院の数値。

②診療所の施設属性

診療所の開設主体についてみると、「個人」(50.9%)が最も多く、次いで「医療法人」(41.0%)、「その他の法人」(3.9%)、「公立」(2.7%)と続いた。

図表 7 診療所の開設主体

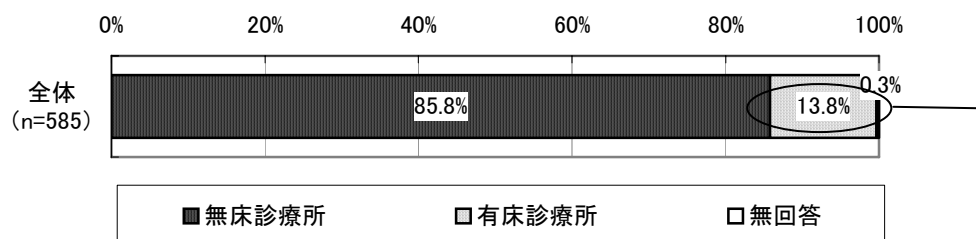


※参考：開設主体の内訳

国立	厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康福祉機構、その他（国）
公立	都道府県、市町村、地方独立行政法人
公的	日本赤十字社、済生会、北海道社会事業協会、全国厚生農業協同組合連合会、国民健康保険団体連合会
社会保険関係団体	全国社会保険協会連合会、厚生年金事業振興団、船員保険会、健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合
その他の法人	公益法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人

診療所の種別についてみると、「無床診療所」が 85.8%、「有床診療所」が 13.8%であった。有床診療所の許可病床数の平均は 13.3 床（標準偏差 6.4、中央値 15.0）であった。

図表 8 診療所の種別



図表 9 有床診療所の許可病床数 (n=80)

	平均値	標準偏差	最大値	最小値	中央値
許可病床数(床)	13.3	6.4	19.0	1.0	15.0

(注) 許可病床数が不明の施設が 1 施設あったため、これを除いた数で集計した。

診療所の職種別職員数（常勤換算）についてみると、1施設あたりのそれぞれの平均人数は、「医師」が1.3人、「歯科医師」が0.0人、「薬剤師」が0.1人、「看護職員」が2.7人であった。

図表 10 診療所の職種別職員数（常勤換算）（n=579）

	平均値	標準偏差	最大値	最小値	中央値
医師(人)	1.3	1.1	18.1	0.1	1.0
歯科医師(人)	0.0	0.1	1.0	0.0	0.0
薬剤師(人)	0.1	0.2	2.0	0.0	0.0
看護職員(人)	2.7	3.2	27.0	0.0	2.0
その他(人)	3.6	5.0	68.0	0.0	2.5
合計(人)	7.6	8.2	91.0	0.1	6.0

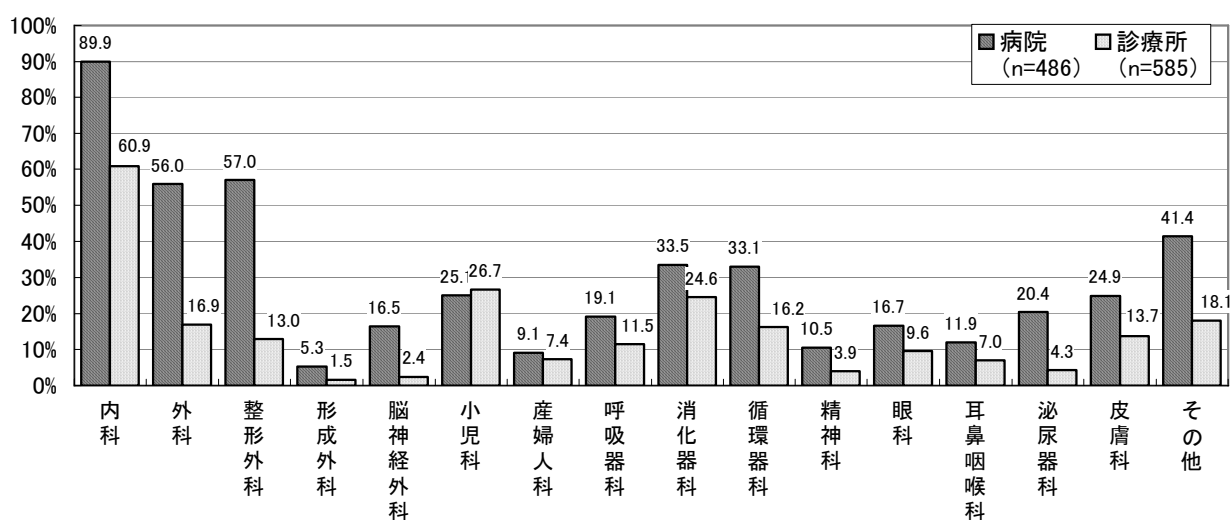
（注）職員数について無回答の施設が6施設あったため、これを除いた数で集計した。

2) 外来診療の状況

①外来診療を行っている診療科（病院・診療所）

外来診療を行っている診療科をみると、病院、診療所ともに「内科」（それぞれ 89.9%、60.9%）が最も多かった。次いで、病院では「整形外科」（57.0%）、「外科」（56.0%）、「消化器科」（33.5%）、「循環器科」（33.1%）となった。診療所では「小児科」（26.7%）、「消化器科」（24.6%）、「外科」（16.9%）、「循環器科」（16.2%）であった。

図表 11 外来診療を行っている診療科（複数回答）

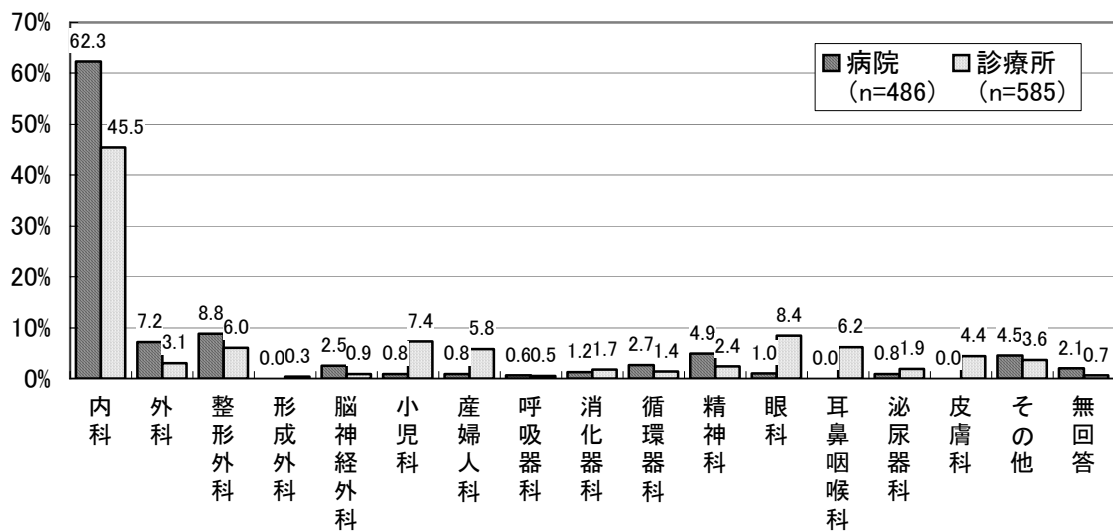


(注) 「その他」の内容として、「リハビリテーション科」、「リウマチ科」、「放射線科」、「神経内科」、「心療内科」、「胃腸科」、「肛門科」等があげられた。

②外来診療を行っている主たる診療科（病院・診療所）

外来診療を行っている主たる診療科についてみると、病院、診療所ともに「内科」（それぞれ 62.3%、45.5%）が最も多かった。次いで、病院では「整形外科」（8.8%）、「外科」（7.2%）、「精神科」（4.9%）となった。診療所では「眼科」（8.4%）、「小児科」（7.4%）、「耳鼻咽喉科」（6.2%）であった。

図表 12 外来診療を行っている主たる診療科（単数回答）

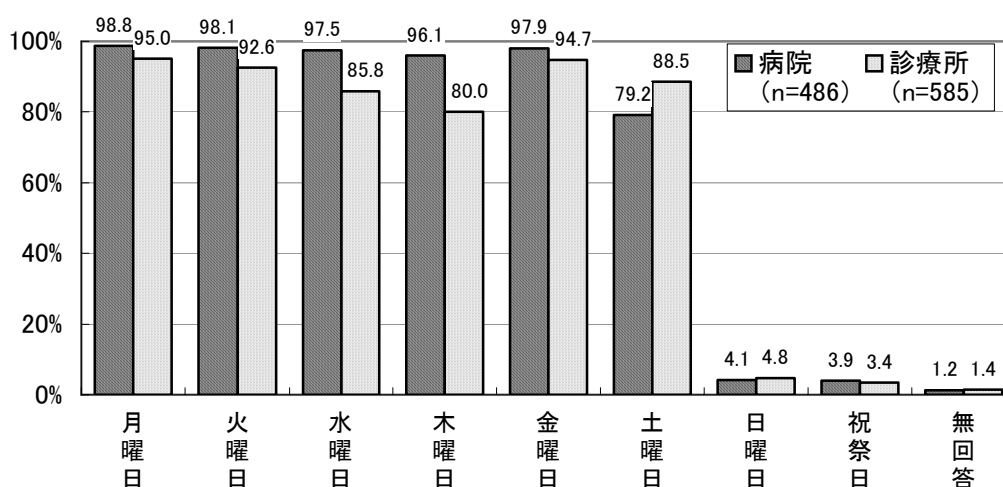


(注) 「その他」の内容として、「リハビリテーション科」、「神経内科」、「肛門科」、「麻酔科」等があげられた。

③主たる診療科における表示診療時間（病院・診療所）

主たる診療科における表示診療曜日を見ると、病院では月曜日から金曜日（それぞれ98.8%、98.1%、97.5%、96.1%、97.9%）が9割以上となり、「土曜日」は79.2%、「日曜日」は4.1%、「祝祭日」は3.9%であった。診療所では、「月曜日」（95.0%）、「火曜日」（92.6%）、「金曜日」（94.7%）が9割以上、「水曜日」（85.8%）、「木曜日」（80.0%）、「土曜日」（88.5%）が8割以上、「日曜日」は4.8%、「祝祭日」は3.4%であった。

図表 13 主たる診療科における表示診療曜日



主たる診療科における1施設あたりの表示診療時間（1週間合計）の平均は、「病院」が36.8時間（標準偏差10.5、中央値38.0）、「診療所」が32.6時間（標準偏差10.4、中央値33.5）であった。

図表 14 主たる診療科における表示診療時間（1週間合計）

	平均値	標準偏差	最大値	最小値	中央値
病院 (n=480)	36.8	10.5	66.5	8.0	38.0
診療所 (n=577)	32.6	10.4	66.0	0.8	33.5

（注）表示診療時間について無回答の施設が、病院では6施設、診療所では8施設あったため、これを除いた数で集計した。

④診療所における外来診療実日数（平成 20 年 10 月 1 か月間）

診療所における外来診療実日数（平成 20 年 10 月 1 か月間）の平均は、19.5 日（標準偏差 6.1、中央値 21.5）であった。

図表 15 診療所における外来診療実日数（平成 20 年 10 月 1 か月間）（n=562）

	平均値	標準偏差	最大値	最小値	中央値
外来診療実日数(日)	19.5	6.1	27.0	0.3	21.5

（注）外来診療実日数について無回答の施設が、23 施設あったため、これを除いた数で集計した。

⑤診療所における医師全員の合計診療時間（平成 20 年 10 月 1 か月間）

診療所における医師全員の合計診療時間（平成 20 年 10 月 1 か月間）の平均は、162.7 時間（標準偏差 162.9、中央値 150.5）であった。

図表 16 診療所における医師全員の合計診療時間（平成 20 年 10 月 1 か月間）（n=544）

	平均値	標準偏差	最大値	最小値	中央値
医師全員の外来診療時間合計(時間)	162.7	162.9	3,182.5	3.5	150.5

（注）・医師全員の合計診療時間であるため、1 か月の合計時間（24 時間×31 日=744 時間）を超えるものがある。

・医師全員の合計診療時間について無回答の施設が 41 施設あったため、これを除いた数で集計した。

⑥病院・診療所における外来担当医師数（常勤換算）

病院・診療所における外来担当医師数（常勤換算）の平均は、病院が 5.9 人（標準偏差 4.9、中央値 4.4）、診療所が 1.3 人（標準偏差 0.9、中央値 1.0）であった。

図表 17 病院・診療所における外来担当医師数（常勤換算）

	平均値	標準偏差	最大値	最小値	中央値
病院(n=408)	5.9	4.9	32.5	0.4	4.4
診療所(n=572)	1.3	0.9	18.1	0.1	1.0

（注）外来担当医師数について無回答の施設が、病院では 78 施設、診療所では 13 施設あったため、これを除いた数で集計した。

3) 外来患者数及び外来管理加算算定回数（平成 20 年 10 月 1 か月間）

①病院における外来患者数及び外来管理加算算定回数（平成 20 年 10 月 1 か月間）

病院における外来患者数についてみると、全診療科におけるすべての外来診療患者延べ人数は、平均 3,027.7 人で、そのうち初診患者数の平均は 347.1 人、再診患者延べ人数の平均は 2,680.6 人、外来管理加算の算定回数の平均は 1,101.6 回であった。この結果、再診患者延べ人数に占める、外来管理加算の算定回数割合は、平均 41.1%であった。

診療科別に外来管理加算算定割合についてみると、最も加算算定割合の高い診療科は、呼吸器科（75.8%）であり、次いで循環器科（61.6%）、消化器科（59.0%）、皮膚科（56.7%）、内科（55.3%）、小児科（53.0%）、脳神経外科（52.1%）であった。一方、最も加算算定割合の低い診療科は眼科（2.1%）であり、次いで、精神科（6.2%）、耳鼻咽喉科（15.0%）であった。

図表 18 病院における外来患者数及び外来管理加算算定回数（平成 20 年 10 月 1 か月間）
平均値（n=313）

	①すべての 外来診療患 者延べ人数 (人)	②初診患者 数(人)	③再診患者 延べ人数 (人)	④外来管理 加算算定回 数(回)	⑤加算算定 割合 (④/③)
全体	3,027.7	347.1	2,680.6	1,101.6	41.1%
内科	1,124.2	96.7	1,027.5	568.0	55.3%
外科	235.0	30.6	204.4	78.6	38.5%
整形外科	622.2	64.4	557.8	175.9	31.5%
形成外科	2.1	0.5	1.6	0.5	30.9%
脳神経外科	91.1	13.4	77.7	40.5	52.1%
小児科	118.7	52.7	66.0	35.0	53.0%
産婦人科	43.6	7.6	36.0	12.3	34.2%
呼吸器科	26.8	2.5	24.3	18.4	75.8%
消化器科	59.0	6.8	52.2	30.8	59.0%
循環器科	99.3	7.3	91.9	56.6	61.6%
精神科	85.5	1.8	83.7	5.2	6.2%
眼科	131.8	21.7	110.1	2.3	2.1%
耳鼻咽喉科	49.7	9.9	39.8	6.0	15.0%
泌尿器科	74.9	8.1	66.8	31.3	46.9%
皮膚科	43.3	8.6	34.7	19.7	56.7%

(注) すべての項目について欠損値のないサンプルで集計を行った。

②診療所における外来患者数及び外来管理加算算定回数（平成 20 年 10 月 1 か月間）

診療所における外来患者数は、平均 1,227.8 人（標準偏差 1,115.8、中央値 1,015.5）であった。すべての外来患者延べ人数のうち、初診患者数の平均は 201.6 人（標準偏差 242.8、中央値 109.0）、再診患者延べ人数の平均は 1,026.3 人（標準偏差 1,012.0、中央値 826.5）であった。外来管理加算の算定回数についてみると、平均 420.4 回（標準偏差 507.3、中央値 262.0）であった。この結果、再診患者延べ人数に占める、外来管理加算算定割合は、平均 41.0%であった。

図表 19 診療所における外来患者数及び外来管理加算算定回数（平成 20 年 10 月 1 か月間）
(n=512)

	平均値	標準偏差	最大値	最小値	中央値
①すべての外来患者延べ人数(人)	1,227.8	1,115.8	10,979.0	6.0	1,015.5
②初診患者数(人)	201.6	242.8	1,683.0	0.0	109.0
③再診患者延べ人数(人)	1,026.3	1,012.0	9,296.0	0.0	826.5
④外来管理加算の算定回数(回)	420.4	507.3	6,052.0	0.0	262.0
⑤加算算定割合(④／③)	41.0%	-	-	-	-

(注) 外来患者数及び外来管理加算算定回数について無回答の施設が 73 施設あったため、これを除いた数で集計した。

施設数が 20 施設を超えた診療科に限定して、診療所における主たる診療科別の外来管理加算算定回数・割合についてみると、「内科」の外来管理加算算定割合は 65.3%で最も高かった。次いで、「小児科」が 50.8%、「皮膚科」が 40.4%、「産婦人科」が 33.0%となった。一方、外来管理加算算定割合が低い診療科としては、「耳鼻咽喉科」(2.1%)、「眼科」(2.7%)、「整形外科」(12.9%)となった。

図表 20 診療所における主たる診療科別の外来管理加算算定回数・割合 (n=512)

	施設数	①すべての外来患者延べ人数(人)	②初診患者数(人)	③再診患者延べ人数(人)	④外来管理加算の算定回数(回)	⑤加算算定割合(④/③)
全体	512	1,227.8	201.6	1,026.3	420.4	41.0%
内科	228	1,007.7	127.8	880.0	574.6	65.3%
外科	16	1,384.6	131.4	1,253.3	512.6	40.9%
整形外科	27	2,811.1	214.0	2,597.1	335.2	12.9%
形成外科	2	415.5	188.5	227.0	132.0	58.1%
脳神経外科	5	1,549.0	316.8	1,232.2	1,063.6	86.3%
小児科	38	959.7	444.5	515.2	261.5	50.8%
産婦人科	31	948.1	138.9	809.2	267.2	33.0%
呼吸器科	2	1,157.5	197.5	960.0	786.5	81.9%
消化器科	9	1,830.8	190.0	1,640.8	982.1	59.9%
循環器科	8	870.1	79.9	790.3	677.0	85.7%
精神科	10	971.5	35.4	936.1	142.3	15.2%
眼科	46	1,338.5	229.5	1,109.1	30.3	2.7%
耳鼻咽喉科	35	1,567.1	409.0	1,158.0	23.9	2.1%
泌尿器科	11	760.5	114.5	645.9	424.6	65.7%
皮膚科	23	1,687.8	476.4	1,211.3	489.9	40.4%
その他	17	1,390.4	143.3	1,247.1	353.9	28.4%
不明	4	922.5	103.5	819.0	431.8	52.7%

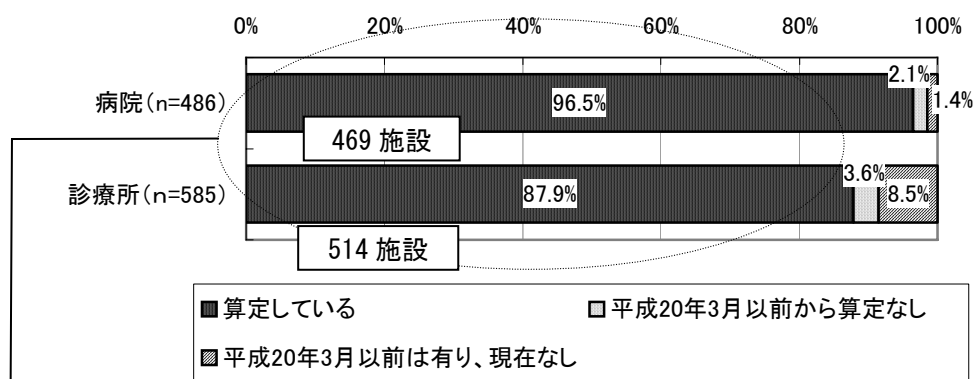
4) 外来管理加算の算定状況（平成 20 年 10 月末現在）

①外来管理加算の算定状況（平成 20 年 10 月末現在）

外来管理加算の算定状況についてみると、「算定している」と回答した病院は 96.5%、診療所は 87.9%であり、「平成 20 年 3 月以前から算定していない」と回答した病院は 2.1%、診療所は 3.6%であった。また、「平成 20 年 3 月以前はあったが、現在はない」と回答した病院は 1.4%、診療所は 8.5%で、診療所の割合がやや高くなった。

次に、平成 20 年 10 月末現在で外来管理加算を算定している病院と診療所における算定開始時期についてみると、「平成 20 年 3 月以前から」の病院が 81.2%、診療所が 74.3%であった。一方、「平成 20 年 4 月以降から」の病院は 3.2%、診療所は 2.3%であった。

図表 21 外来管理加算の算定状況等（平成 20 年 10 月末現在）



図表 22 外来管理加算の算定開始時期（平成 20 年 10 月末現在）

